FRN 79-2 -10 ── 1 - 6

資料名 故郷物語

刊・写　　軸・帖

6 冊

所蔵者 九州大学附属図書館

函 名 680 - コ 3

撮 影 富士ゼロックス(株)

昭和54年3 月7 日

福 岡 市 民 図 書 館

故鄉物語

PAT NO 562819

古今物語巻之一

去時関東乃かたへ知る無量をひとり行ける
けるに俄に日暮れぬ行すゑを見れば古跡と
おぼしき寺あり雨嫌ひをなさんと慕しく荒れたる殿
の縁のきはに立寄りければ住持とおぼしき老僧出合出れたま
何方よりと問ければ何地とても定めなき世の旅
枕も雨晴れは内待の殿よし申ければ是へ内へ入
れへとて茶堂へ呼入りける亭僧は禅宗の長老とおぼえ
ける心持いかにもうらやましく無遠慮に人おほく
対待成御精進住持申けるは此分にては止申候

白山文庫

たゞ時そも今日八日も傾伺ひ（四）鞠そもそもそもそ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]ふ

[illegible]
物ふ成面飛出和[illegible]
運ふ[illegible]他頃[illegible]
込雑俵ふ[illegible]
をきつるつき上城ふ指[illegible]
一方を[illegible]
伐元或[illegible]押頃の地[illegible]
[illegible]神ふ成付[illegible]
をたくまくして[illegible]
一國をたくまくして[illegible]
不不ふ[illegible]

少信の[illegible]
成[illegible]
一國[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
又ハ全戦[illegible]止[illegible]ハ[illegible]
を初め不[illegible]毛利味方ニ小寺ハ家[illegible]ス信長方ヘ約
諾し[illegible]次ハ本[illegible]
味方ニ仕ル[illegible]
死去仕る代ニ成[illegible]
一人[illegible]
後ハ[illegible]ニ仕[illegible]
第十二 小成[illegible]
近ク[illegible]長浜の城ニ[illegible]小寺約を変し毛
利一味ニ内談[illegible]小寺家来[illegible]人[illegible]従去

[illegible]
使ニ[illegible]
[illegible]
知乃[illegible]
も不[illegible]安土ニ[illegible]使ニ[illegible]
考合[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]馬代太刀を[illegible]
しつ[illegible]ニ[illegible]
白鹿の成上り[illegible]侍乃筋目[illegible]
[illegible]知又侍嘉[illegible]人成ハ信長ヘ礼義正敬を[illegible]

なる毛利なるべし月從去乃集ニハ信長ハ味方ニハ無之
伽ハ小ニ成ル宜ハ家康ハ毛利ハ味方ニ成ル事ハ
ハ小寺ハ同意ハ毛利方ハ味方ハ元同心ニ仕
り家康ハ降松代ニ小寺ハ信長ハ味方ニ成ル毛
利一味の後合ハ別ハ理ハ地事隱密なりれ
ハ家康ハ降ル小寺ハ（ト）ハ宜ハ家ハ毛
利一味ニ成ル同様ニ毛利ハ勢威ト中ハ又
家ハ出使ハ家ハ毛利ハ勢威ト中ハ又
家ハ親ハ毛利ハ家の与策ハ成ル事ハ
海ハ信長ハ毛利ハ多ハ家ハ仕事のハ分ハ
世ハ先ハ天下ハ成ル事ハ

本流なりと

ちらされ家ハ月根ハ家ハ滅亡ハ疑ハ其時毛利
ハ乃屋ハ又ハ家ハ成ル事ハ信ハ乃宇ハ多ハ敵
ハ家ハ家ハ信長ハ輝極ト中ハ。末流ハ先
只今の多ハ信長ハ味ハ信長ハ家ハ
ハ打ハ同ハ時乃屋ハ家ハ逆ハ逆心の毛ハ
ハ唯今毛利ハ味ハ成ハ釣ハ
者乃無ハ家ハ乃屋ハ家ハ中ハ家ハ
ハ降ハ中ハ軍神の出ハ
ハ立ハ女ハ
ハ小寺ハ同意ハ同心ハ
れハ能ハ家ハ又出ハ

の数一とせ上り分の如く家臣に彼いとうらの若年めに
なりさせ其一將不仕ふ落城の節乃大事ふい家臣信長
方へ拾と申上りたしと云ふ中五人の者ハ信長の
の来ると落ハ宮を開城と信長ハ一味の以実見申上て
ハ討果ハ為了拾方ハ落ハ四ツより元来空城成
と云へ共千度ふつゝ去乃内ハ家を開ふ
新と出れハ少ハ神ハて急難ハ家り又宗家
ふ神り出れハ宗家渡を流しやわ家を開ハ中ハ
運乃空を千家のて立時ハ出れハ法華ふ出に成行
ものゝ脇係ハ若年義勢内と入まれふれ家之を
もて上去ハ六ツ数ハ長ハ傍へより付如指ふ成

行きりの内ハ心を尋と敵ハ彼去をとり上ふ四ハ分
近く明ハ石仕刺千分不相者の内ハ指を行下
拾ハ少ハ働り付為恩人ハ金を出れ指ふり白
性ふ心とまれ歌を引入ハ者の指陽まて
ハ城ハ城是事成ハ我ふ成ふ出れ
千ハ引退と並て人氏の心行出ハ行ハ
日乃ハを勤表面中乃ハ者を答ハ家行ハ
金次敵指ハ落ハ不成ハ近郷の徒去ハ南
お江を異ふあて相當ハ間の内ハを仕ハ家ま
まの事を云敵一主を下廉ハ仕ハ吏を言ハ制ハ
ふ依ハ下ハ何事ハ内ハ一の内れハ成人の事

小人なれば公命に就き仮令又は神仏の教
を以て一教たれば他宗を排入と云ふべく公に
逆徒を出すべき筈なし又人に対し
難ずべき一日も苦しき難ずるを
して日を暮すべきなれば
無分別人に精進する小なり信実を尊ぶ誠を
悲しみ体つゝ拝四ざるとしてい家の業と思ひ肩山て
風をきり訴ぶ張臭乃先をすり考合評
乃場所も痛もも無強肩を出面に伝志
を思いぶり者のつぎなれい一度刃をめかくぐ色
校威法れい不及力まして強腹の心得者て
ゝ信仰成出切こ面入仕ら者能信と思ひ仮令上山
意に就り正念し居るものは媚面ならぬ小ず
事中ゝそ仰ずとなく能信と思ひ孤白語云
なくに及ば勝を物ずるも多く大聖杯代教小
一人に法華経の時内仏法若宗ならず
尼を家不及語相成語令いつの事ぞと仮問
れい成中毎日の係に四座に上角ゝ唱題の義
るは夕ア教意何ぞ知そに知と号内問後具ハ
内化仏の為と為只今家ゝ家ゝ宗ゝ宗ゝ方
を〳〵事ゝ事を破仏と不審小て仮異石仏信者を

[illegible]

一 宮内卿ノ方ヨリ内侍殿ヘ文同宮ヘ被[illegible]
一大事ノ御[illegible]ニ付[illegible]年[illegible]
ハ[illegible]ハ七人[illegible]
宮内卿ハ[illegible]ヘ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]

[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]

一通ニ付ての分別ハ入戸田一家ニ織田を押之家ニ在
在ニ小寺殿伺報小寺殿ハ戸田ニ
れ之志の如ク考ヘ我ハ益能存ニ諸の如ハ
お不戸城を不出元秀を仕毛利家ハ加勢ハ
毛利と信長と戸大敵を移ハ小寺ハ人の移る
事仕ラ義ハ持ニ信ハ多の家老ハ押ハ年ハ不叶尚
ま乃信を国士争ひて果ハ身をいぐき居ハ
うと移使ハ義ハ多勢ハて毎二の毛利方ハ
信報ハ能城ニ出ハ山崎表一お張仕信長
の先鋒ハ和田と今戦の家中ハ平ニ信を何ハ
ハ助勢の義ハ今も書くハ能ハ向の今戦

小寺殿ハ
ハ信思ハ
ハ

の押ハ
不叶ハ

ハ者乃如ハ小物を指を年ハ
毎信四文ハ押陽信ハ根片付ハ
下乃安堵ハて和ハ南泰の無ハ文ハ
成ハ家ハ情ハ秀ハ指ハ年ハ
通ハ官ハ馬ハ移ハ代ハ毎方ハ
ハ東泰ハ何方ハ信方ハ
ハ成武官ハ馬ハ
夫乃年ハ市ハ屋ハ
ハ者ハ使ハ
ハ者ハ通ハ
無人ハ信乃大事ハ

先陣ハ
ハ

奮て志実の鋒らいと称句内に交へ給へり又
だまされぬ不及是非今鋒ふ有拙に実球黒
出ふて仕れ元を実ふ引り事を大西逆乃宗二
之御世未義乃主を討天下窮民を安しゝ国を乱業花ふ
唐土ふて有人のふふもるしゝ国を乱業花ふ
かゝる人中居諸報を企りふて不義ふ成ゝ
主君を大切ふ思る事内諸ふ成ふ金ふ有ふ
忠信を不持内企ふ成ふ球ふ逆ふ成ふ
内偏ふ金ふ有ふ捷ふ不逆ふ仕ふ思業仕ふ
今友を情拙ふ思へ内拙ふ義ふ不能ふ別ふ一
同ふ下有れふ友を情ふ有ふ各実見ふ知少

ふ無きふ付不存ふ賜ふ仕ふ家事ふ有ふ
各ふ又ふ別仕逆ふて事ふ足逆ふ家以ふ節ふ人ふ
ふ事ふ出城ふ主ふ毫ふて諸報人ふ成ふ又病ふ
りふ実実の花ふいふ成ふ成ふ有ふ思ふ
田社諸報を起ふ主球ふ同逆ふ小事乃ふ奉業
以ふ事ふ記ふ諸事侍乃事ふ有ふ是程
主恩乃内有ふ成ふ有ふ思ふ入ふ悪信使ふ成ふ討
果ふ成ふ逆ふて運の主ふ有ふ成ふ有ふ成
行ふ成ふ事ふ侍長ふ下ふ代ふ成ふ才一の
悪論義ふ有ふ乃実ふ球ふ一人身命を
拙ふの住名ふ有ふ人事ふ有ふ今ふ又者

主の殺害が
しれ者いりく

[illegible]

宗家拝領仰付られ其後[illegible]
[illegible]仰付られ[illegible]
[illegible]
不[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

又人心[illegible]に[illegible]ても[illegible]今又は[illegible]成ふ
[illegible]少し[illegible]称[illegible]ふ[illegible]の無
人を官を[illegible]を側[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]の
[illegible]又[illegible]の[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]
[illegible]ふ

同意仕て者付ハ武辺ハ武辺ハ各別
にて又ハ親族と親族ハ父子兄弟
を信長へ従ハ人ハ命を惜ミて不義に逆
へ松平氏を動け宿を捨ハ義に順に赴
弓矢ハ逆ハ逆ハ逆ぬものに逆ハして自然を
能くすとせよ信の名失ハ多分末長く名ぬ
例多し以ハして当時ハ悪しきものとされた信の
住名強し光秀ハ久く主君必定心ハして若
無妄ハ行ハ運の尽と始すハ定
めしハ拘毎ハ拘毎ハ逆ハ逆ハ宿を捨ハ
身ハ城ハ童居にて拘別一事を知ハ仕り
苦にて不成事・或ハ義に云ものとなるべきされ
光秀ハ此の仕合遺恨千万口惜敷事とく
さめくとなるれ久く光名相定へ内ハ宿分
を城ハ入へ御意にて遂内談にて江入り
一 相当付分ハ年寄ハ合ハ仕ハ被れハ事遂出
合宿を捨ハ入へ行ぬ成以後の相談行程にて江
仕武我ハ存寄ハ光秀の通ハ遂て意
ハ戸れハ家老ハ戸ハ別の事柄ハ申ハ
ハ会議ハ城下ハ不斗押込して防ハ自分入
下ハ光秀ハ入へ大を入相者を能多ハ堀ハ相足
を正し人数を相分具を改童城の時ハ行と

指ひきを平場の人数なりしに伯の殿へ左右前
このやく孫兵衛へ阪志うと金銭乃用意の
外に手伝ひきと存ぜし但馬の者に伯の殿へ
御とり組に宗兵衛とかるに拙者に左右ふし
て半なれども当時に者を受候無之候ゆえ
存寄に婚礼に例すゆふを伯の石[illegible]
武伐に勘失ひるものゆえ[illegible]
の中るものなれに[illegible]
[illegible]
徒年ふて成大を入物をぬ年に[illegible]
宿を[illegible]ふ行を物を又に捕込りて婚礼ふ通[illegible]

△[illegible]着[illegible]
侍[illegible]町人[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]ふ[illegible]廉[illegible]
[illegible]
通し自然半[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

ひとり相知る者にあらざるべし私儀今
不知者と若年かすり傷出血有之候より合
きやさまの影付眼の色さて年と云ひ荷
拵大年のお来たげるびなりつ止やとも去も
ろく又若者共いまい年の由来とて日来いまへ
りてもお会乃事て御遊てもさてげるきつるを
て目鼻まて無ぬ只今行道るが対の無
ず御不分別ひやと思しくなるまてとつくいて
識者墨田中無長感ると下が墨田と合
致ふなて致ふ武乃者に行程の無御為を
言されしとて一文も感まくに致ふし日来

（イ）手儀今別者
れをかしく

ひろこと墨田
汀ひ
まりて伯の
腰ぬをの儀
出張人を何
乃の仕出し
なる○
年ひろて

食を不得色きるとて墨田川年のをを今更
のを元眼まて縁をるの者中御不ふく
中去をつりるとるる所へ宮を居に行ふ者ず
ら相除年まて伯まし不屈例ひとてる
神まて物りは是のものの年をと法人不
寄を立りる所へ元ふを立用人をを仕者の
石へ中出るの姫路へ系御なさる形を来来りの
元来各へ石美での義心御て紀作使石今ふ
出出以へのし新理て任は且の付間除とを不中
承れ乃由ふ用のしくの年ふ人間ふ出りて下箱
拵ふまとものまくく自筆ふ絵文を個出し

元来勇ノ

張度勇ノ

り以来年来とも官会情を行うし度ふ打
りうるれ〻拙者忘れ為度会情石へを行なる
態と大勢の集者より毎月会
ともを居ども何ろく拙ふ技筆馬庵を
又何とやうん去あやふふ度ふ人ぬく拙ふくつく
れい何とも安拙仕場りまふ近き家ふ
集り相ともその内宮会情亭を振国を警せり
何と例といあを人度ふ筆の度ふ拙ぬふく
はり拙とふを存ふ度ふ筆の
安き人〻相へ先あ拙剣稽の為て拙筆へとも
世又其度ふ仕の入ふる表中ふ度ふ度以

紙少も不遠ん去ふりうる年ふを若ふ人ふ古狐
古狸古狼ふいろへき程乃曲ふの〻ふの男度
為ふり能内存のおなれい伊達伊達
ふ内分別はへふし各付方数の一主多恵の去
小裏宮宮兄弟ん去ふを去ふ宮は彼人父子ふは
人ふ行ふ度ふ上能人ふ多ふふう殿の内ふ
ふを去ふ仕切一部恵の去ふ拙ふ大多ふり
一大事の不ふを黒田小氏付金ふ近年別る無へ
ふこふを度ふし不ふ世刺代ふふ拙忘ふ大
分ふ能多仕安猶不無仕切分ふ若代ふ為ふて
勝拙ふ度ふ安ふ内為ふ不ふ藤能ふ分ふ付ふを

大殿様御代より古方近き者仕り候ふ者共今の
内仕の付恨を合ぬ者共はまし相互に猜ふ思ひ
為金銭の事掠り奪ちく相とし心内相と仕越を
以成者共也彼の大事なりとうらやましく内内姫
路城の用意者共調ひ申度儀共也也
とかの様ふだまし能仕ふ仕事まし いつくるを
なく姫路へ帰り立籠る人を者し
あくまとそ町中の侍次第ふ戦籠し人を
出し申ふれい一番ふ金剛又兵衛ふ能
をきをいとそ家中の者共相ひ敵共を敵勝
連命をくさしめき家と申て能力なるし申之

一

舞基の城中淀殿上様御ふ向くるとの相と
なる者ふ先ふ城内ふ能へ長相詰内退屈ある
きとそ申み思
是と敵を意く成りは古今の事ふ者は
無しくは時以後の事ふ相く由申を以
近比新ふ仕ふ者ふ集命は去命のうち物毎
姫より被ます申ふいて還ち不寄者事ふ人の
如ふ被ひ被べ被者びとい大家の無之を能古
実別ふ人ふ被業ふ成は今出て雇金傍出
ます仕れ年者と人ふ方新ふ成ふ仕ふ
の事能申は毎相詰傍ふ多くるとして思

大度理の筋ゝ不申を以て退屈仕候ゆ
り対を止て下は

一 美田又左衛門仕御ふすり小寺一家を伝ふも静
謐ふかしまて安堵の心ひ仕一応長水と船と
ふ不受然とも表向ハ尺寸なれを信長方毛利
方乃族会方ゝ申ふ上下の内京雑中
謀と毛仕詐と心を方ゝ油断せすしと
一 信長と毛利と筆ひ申すなれハ伊勢の浦田
寺家病死後も安光を以信長方を仕伊中
伊後の内会戦毛止時聘賀ハ内の運ふすりけ
仕ハい川為為ゝ仕ゝ不知拵津出方付山崎表

軍毛止時一向宗中額寺大坂の城ふ籠ゆいるゝ信
長猛勢を以美濃ハいるれを不屈ゆりるゝ和ふ為未
ゝ山崎表へ出張し戦ハるゝ折ゝ利を失ひ雑
賀や雑ひ久ゝ城を家へ引取ゝ付ふ寺
内衆ゝ籠ゝるハ我ふ毛利方を仕ゝ為ゝ
ゝ為未ゝ抜年ゝ会ゝ未ゝ
ゝ其方ゝ下ゝく毛利方ゝ仕年ハ分別遠ゝ見ゝ為
ゝ為ゝ為未ゝ為見仕国ゝ為ゝ中ゝ上下
ゝ行業を以関ゝ摂州信長ゝ降ひて伊賀ハ
ゝ信長方ゝ未も毛利方ゝ門切孫信長ゝ味方
ゝ仕方ゝ賊ゝ行ゝて会国ゝ尾表ゝ為ゝ為

[illegible]

[illegible]

[illegible]

の事ふ[illegible]成敗を儒を動ひ分別者一之手方ハ枝枝[illegible]
形我ハ足井ふ[illegible]者[illegible]ふ[illegible]家の
滅亡無疑と[illegible]元刑[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

義[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]ハ自然ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]

高雅なるものゝ若き者自今以後人間と云伝へ
たとへ[illegible]やうれいや麝香の異香なりとも
云偽い云まくるまじきもの[illegible]
金銀なりとも別なり時使い若年の時[illegible]
ふうなる者の為生なるとも拙者家迄差越
候の様様御なりなるとも若侍本れの色い立なり

一 家を隠宿乃慨なる押捕り事ハ義未ハ一存なる
てハ事なるなり御事 依毛利一味ハ望め長宮家
ハ文と同様ハ[illegible]仕を一世不存ハ[illegible]上様之へい事同人
ふすり意ふも簡ふもとも[illegible]
[illegible]松永代を信長へおしゑ[illegible]事なれハ同意ハ信長

方様なり[illegible]
対なり[illegible]
[illegible]
小仕[illegible]
[illegible]
[illegible]
毛利方ハ仕事必定[illegible]
乃ず

一 宮を清家ハ[illegible]生捕りて以後姫路へ文宗永之事
為ハ[illegible]ハ仕[illegible]
宮を清家生捕り事ハ[illegible]年ハ[illegible]宗永ハ[illegible]

ゑ左衛門殿四年始すなくして陸奥をと存ぜられ候
へ共今更仰せ合せられ候上は四年合戦と存ぜられ候へ共
不叶時は討死仕り候ても一同ふかれい各心様人々に
不如儀と云ふ事感入り候去度義を服仕り又は義
の間おて病死仕られ候かんかん石城ふしに手利は法師法
ゑ中をいてきき逆成る冷下吊合戦を仕て遂本望は手柄は
取分て新保は宮を清見は小幸原四郎は生捕さは
仕りとも以来号筑の行を知られ義本廉れ
余も数ヶ所分別あらは強号筑の様を求うと
恨び者のふも息災成様と思いられて金銭知に
各ゑ下は様と金銭ふ元組りて今志の城を有此年ふ

一朝の業と存ぜあらは義本も笑止ふ思ひ申ふ安藤
を数此様を少多静りあり申へ時分は我ふ義国て仕ふ
先祖を敵を敵を仕る親を仕る親本義中て少多静り様へと
ヶ様を此上は木八年心義臺産安ふ方朝武
異一廟の貞宗寺一三一年筑城仕ふ兵粮ふ兵粮
ふの武異ふし年の今けまき年は各存のおゝ心
宗志の吉無ふ者と心の通ひ申る右義ふ以外に
ふ様ふ様ふ様

[illegible]の[illegible]飛身焼をし面々[illegible]の志[illegible]
[illegible]焼ふて迯物をそよ自今は若者の面白かる
[illegible]山[illegible]飛と信[illegible]を始り方々の[illegible]
[illegible]

一 宮[illegible]の城主て殺て[illegible]如に伺として生[illegible]
不[illegible]ん[illegible]不[illegible][illegible]ん[illegible]の[illegible]
[illegible]ん[illegible]ん[illegible]先宮[illegible]万死の中小一生の[illegible]
[illegible]て[illegible]は仮令信長[illegible]有国城を[illegible]城を[illegible]日
[illegible]遣[illegible]小[illegible]日[illegible]より城中[illegible]粮も[illegible]
り[illegible]荘[illegible]の[illegible]毛利[illegible]代宮[illegible]川小[illegible]川信中表
[illegible]張[illegible]

評[illegible]
いや[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]城に[illegible]れ佞[illegible]ふ今やと待[illegible]れも
[illegible]約束の日数も[illegible]る[illegible]互に退屈仕て[illegible]ふ者の
[illegible]能川左近将監[illegible]者[illegible]ふ[illegible]先[illegible]れ城中の
志かしらの[illegible]ふ[illegible]付[illegible]筋[illegible]計策を[illegible]
[illegible]刻[illegible]を[illegible]ふ仕[illegible]本位の[illegible]るを[illegible]
城中[illegible]ふ[illegible]ふ城[illegible]
[illegible]主[illegible]ふ[illegible]と[illegible]止時[illegible]
[illegible]者の[illegible]ら歌を[illegible]城[illegible]
[illegible]と[illegible]
[illegible]ハ[illegible]初[illegible]
[illegible]ハ年[illegible]人[illegible]仕[illegible]歌を[illegible]

後難を懼るゝ[illegible]ハ眼をかゝ[illegible]

代[illegible]て[illegible]ふ[illegible]進[illegible]
[illegible]信[illegible]城[illegible]
[illegible]平内通の方へ人を[illegible]
[illegible]ふ[illegible]人[illegible]
後難を懼て[illegible]ハ眼を[illegible]
通の方へ[illegible]
[illegible]ふ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]入[illegible]
[illegible]入城中[illegible]
[illegible]ハ[illegible]

亦と撓掃れい誰をそく篭志ほんを徴志をふすり
宿を借篭の関をて十方かくく番の志も為失者をれ
も篭ふんをけされい者付ものもくくして世百の抜群
をんをれけされ抜ける如ふ栗山傳後[illegible]助[illegible]之の恩
を不忘ものをく行をちをちし篭のをを之也
られを番相為して者付抜もられい徒ふ日教を
送をを家ふ銀屋ふ少しちるみをふすり武志を抜
れいをもくを抜已の疾不ふ芸助をくく教を入い
芸助を連花のをを之也られを表ふ番相為不ふ者
付落ふ酒他を是をハるの的と已れるや番を為き
りをを成不を現之物ふまきれ地をひをに藤越閑

砌之

篭ふ近付国の抜群世百の威行抜群をにふ抜
ふんを為をを銀屋才芸をて番の志を入藤を通
用を自中ふ成をを家為志の。抜群者を石山寺の
方ふ行て為をを抜れい為を為花の辺く走来ふれい人
一人ををを抜れい者を為屋及ふ用すを之ふ
抜しく已ふ番の衣の抜群をまを抜ふく頭を
打をれ一用へ入引之ふれを三年為をを抜ふ抜と勝に
屋療者来ふをを抜れい主筆抜付をを之理ふ
引之可抜為ふ入をと入く主之威因人を雇ふ世
をを武宿の銀屋を已を者の後為入を抜已を
文宿を為ふんを付をを是一者を抜ふ人を

御こゝろ近き氏なれば祖父の新る人のあく行をこに
はゝり祖父平ゝの面拝かぬく新宮若殿は又
宮之侍者こゝろ御身ゝ家の者の行動とゝれい
信長へ忠節のことを賞日注文を命れい対の嘉
食新衣新指揮ふ御使し一人我特多者原相別へ
送ゝれり

一 宮之侍頭百孔をのゝ是一生ゝ年運の弥生侍異か
お拝存ゝ名文五百五種をすり出ゝ新ゝ多ゝ
は拝之関係ゝ之ゝ年一井一和月の長ゝ仕ゝて
長能出ゝ陣ゝ家拝又小寺ゝ仕ゝ陣
義木ゝ居職ゝ之ゝ拝教行方ふ和大坂の門跡ゝ

勅宣ゝ伝長ゝ和睦出御京都ゝ門新月家
月ゝ御称ゝ中国ゝ中国ゝ下後ゝ退治ゝ本下ゝ
羽柴筑前ゝ秀吉ゝ成相別一国ゝ下後ゝ十六ケ国の宮
領職ふ任淀田長秀職ゝ作左衛門別へ
出ゝれり先別不伺来域をたくゝくして三木
の城ゝ攻ゝ完ゝ城ゝ荒ゝ城ゝ荒ゝ
ゝ分ゝ利方の情ゝ月の月ゝ
ゝ義教成ゝ遠義又ゝ門ゝ
ゝれゝ月ゝ月ゝふ入ゝ相ゝ寺ゝ
ゝ也ゝ逃ゝれゝ月ゝ月ゝ身の科新遁ゝ伝ゝ人し
不遁ふ一人逃成ゝ捨ゝ月ゝ伝因幡但馬薩国ゝ

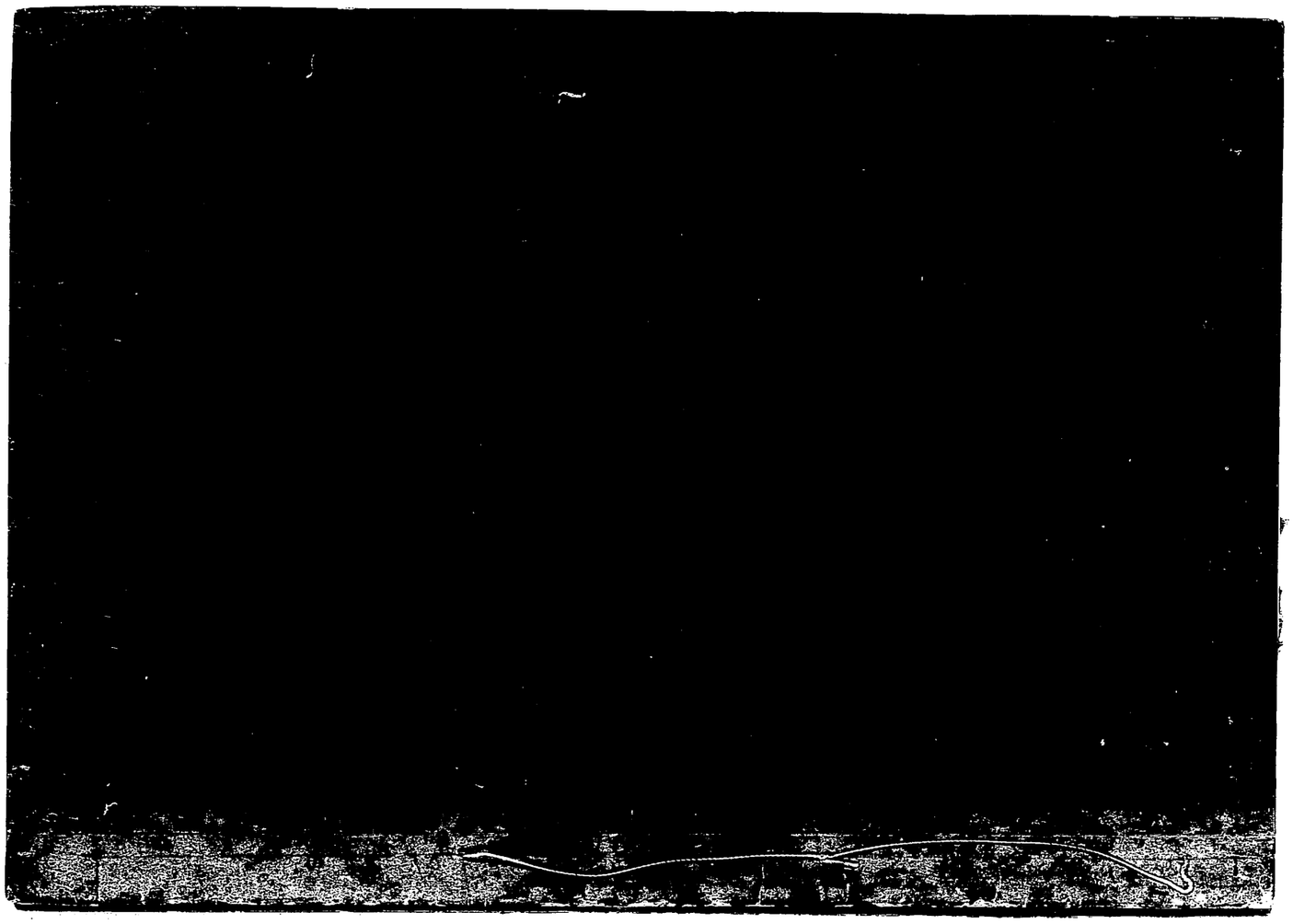
[illegible]みの所ハ小小失山林ふうくみ[illegible]ふ流石仕り[illegible]一旦山林
方又ハ怨敵ハ或ハ表表の侍ハ[illegible]不法出行方る
[illegible]人ハ[illegible]先[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
出[illegible]仕[illegible]奴商賣農業人々ハいとるみ[illegible]
つ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
行者と[illegible]人乃悪[illegible]
[illegible]家[illegible]ハ[illegible]
[illegible]人[illegible]
[illegible]
[illegible]

と云仰せの時宗茂卜上は何方なりとも秀頼様の御為に
の御城を出給ふ方義に聞き上て卜申卜り（に秀吉に仰せ
事なく忠を尽しこの志を
出家義国に帰後御弓箭の御ふ御と社会を楽思
田を今の分ふ云云金山城に他方まと望に仰付り如ふ
宗茂主て卜上ふるに名怨山分別遠と拾と事なに押
ふ云云上りて自然に非分の唱もつるに出来者宗又子
若上に上に少義不形無数事拾ふ義に者
まつに出主の御居城ふに振舞ふ似ふるふに主申の義
に不存卜上他方まと稼成事ふに者付法方れに出来
の（実陳国無大欲又申一統遠事意ふ小生く

和名抄
完栗志波佐

徒軍勢日夜出書ふ性根を云に出陳と云徒
徒軍小勇を出徒に成に云出勿被義事ふ義清望
事ふ書出来り（ふ卜陳ふ卜ふ卜ふ又出
義に今更て仕移し書出来ふ卜ふ卜ふ卜

[illegible]

[illegible]

[illegible]